

コーススケジュール

下記のコーススケジュールは、講習の受講生人数が2人の場合を想定して作成されています。

試験に合格する為の準備講習会が6日間と、試験が1日間です。

準備講習会では、次の手順で講習が進みます。

①トレーナーのデモンストレーションを確認します。→②あなたがトレーナーと同じようにデモンストレーションします。→③トレーナーは、あなたのデモンストレーションに説明不足や誤った行動がないか確認します。→④あなたの、デモンストレーションに説明不足や誤った行動がある場合には、トレーナーは、それにより起こるかもしれないトラブルについて明示したりトラブルを実演します。→⑤アドバイスにしたがって、デモンストレーションの練習をします。

あなたの技術習得速度や受講生人数によりコーススケジュールが変更される場合がありますので、実際のコーススケジュールについてはトレーナーと打ち合わせをしてください。

1日目	①水面フロートを使用しないファンダイビング実施法の練習（採点表の「オリエンテーション・ブリーフィング」のパートのみ） ②水面フロートを使用したファンダイビング実施法の練習（採点表の「オリエンテーション・ブリーフィング」のパートのみ） ③ファンダイビング実施法の練習（採点表の「ディブリーフィング」のパートのみ）
2日目	①水面フロートを使用しないファンダイビング実施法の練習（採点表の「エントリー」と「エキジット」のパートのみ） ②水面フロートを使用したファンダイビング実施法の練習（採点表の「エントリー」と「エキジット」のパートのみ）
3日目	①水面フロートを使用しないファンダイビング実施法の練習（採点表の「潜降」と「浮上」のパートのみ） ②水面フロートを使用したファンダイビング実施法の練習（採点表の「潜降」と「浮上」のパートのみ）
4日目	①水面フロートを使用しないファンダイビング実施法の練習（採点表の「水中移動」のパートのみ） ②水面フロートを使用したファンダイビング実施法の練習（採点表の「水中移動」のパートのみ）
5日目	水面フロートを使用しないファンダイビング実施法の練習（採点表の連続した全パート）
6日目	水面フロートを使用したファンダイビング実施法の練習（採点表の連続した全パート）
7日目	ファンダイビング実施法 実技試験 ①あなたが、オリエンテーションからディブリーフィングまで、一連のファンダイビングをデモンストレーションします。 ②水面フロートの使用の有無は、トレーナーにより指示されます。 ③デモンストレーション中に採点表の全ての項目が合格とならなければいけません。

(実行できた項目の口印を塗りつぶして■にする。全ての項目が■になれば合格。)

全般

- 自分自身が4秒以内毎にメンバーの動静確認ができるように行動した。あるいは、4秒以内毎にメンバーの動静確認をするようにアシスタントに指示した。

オリエンテーション・ブリーフィング

- ダイブリーダーチェックシートに規定されている内容で、オリエンテーションとブリーフィングを行い、説明に誤りや不足がなかった。
- ダイブマスターを追い越したり、ダイブマスターの最大水深を超えないようにメンバーにあらかじめ告知した。
- バディが互いに手を伸ばしたときに相手と握手できる距離（バディ間距離）を保つようにメンバーに伝えた。
- メンバー全員の残留窒素時間をあらかじめ確認した。
- 浮上速度は毎分10mにすることをメンバーに伝えた。

エントリー

- メンバーより先にエントリーした。
- メンバー全員が入水するまで、メンバーから目を離さなかった。
- 状況に応じてメンバーの補助をした。
- 水面移動時には、必要に応じてメンバーに浮力調整器やレギュレーターを使用させた。
- 潜降前にメンバーに十分な浮力確保をさせ、全員の体調や心理状態を確認した。
- メンバー全員の疲労状態を確認して、必要があれば水面で十分な休息をとった後に潜降を開始した。

潜降

- 潜降地点の海底での目標物を明確にし、チームからはぐれるメンバーがいないように配慮した。
- バディ同士で潜降させた。
- 必要に応じて、耳の具合や心理状態など、メンバーの異変に応じることができるようメンバーとアイコンタクトをとりながら潜降した。

水中移動

- メンバー全員が海底に集合し、異常ないことを確認してから水中の移動を開始した。
- 常にチーム全体を視界内にいれ、チームコントロールを適切に行った。
- メンバーの残圧を常に把握し、残圧の少ないメンバーに合わせてコースを臨機応変に組み立てた。

浮上

- 浮上に必要な残圧があるか確認をした。
- 浮上の際には、海底にメンバーが残っていないことを確認してから浮上した。
- 浮上スピードを守った。
- リバースブロックや心理状態など、メンバーの異変に応じることができるようアイコンタクトをとった。
- バディ同士で浮上させた。
- メンバーを水中で一時停止させ、水面のボートに対する安全を確認した。

エキジット

- 水面移動前にメンバーに十分な浮力確保をさせ全員の体調と心理状態を確認した。
- 水面移動時には必要に応じてメンバーに浮力調整器やレギュレーターを使用させた。
- エキジット地点の目標物を明確にし、チームからはぐれるメンバーがいないように配慮した。
- メンバー全員の疲労状態を確認して、必要があれば十分な休息をとった後に水面移動を開始した。
- メンバー全員が退水するまで退水しなかった。
- メンバー全員が退水するまでメンバーから目を離さなかった。

ディブリーフィング

- ダイブリーダーチェックシートに基づきディブリーフィングを行った。
- メンバーの人数を確認した。
- メンバーの体調を確認した。
- 器材に損傷や異物の混入がないように輸送した。
- 故障している潜水器材に関しては直ちに修理するか、故障していることを明示する札等により第三者が使用しないように注意して管理した。
- 関係先へ潜水が終了した旨を連絡した。
- 体調の悪いメンバーがいる場合には、適切な対応をした。